

営農分野(コメ): 2018-2019 年乾季作における活動成果

Savan PAD プロジェクトの営農分野では、コメの生産性向上を図るため、種子更新や肥料の適期・適量の施用などの基本的な栽培技術の普及に力を注ぐとともに、病害虫対策などの指導も行ってきました。

今回は、営農(稲作)分野における 2018-2019 年乾季作(2018 年 12 月～2019 年 3 月)の活動内容や成果について報告します。

1) 活動内容: 栽培技術の普及—種子・肥料貸付、栽培技術強化プログラム

<ポイント>

- ・栽培技術を普及するため、種子・肥料の貸付けと栽培技術研修をひとつのプログラムとして展開
- ・全ての農家がプログラムに応募可能、応募者は栽培技術研修の受講を義務づけ
- ・研修: 種子の選別、基肥、植付・直播き、追肥などの基本的技術を中心とした内容
- ・栽培開始後、現場での技術フォローを実施: 播種、施肥、生育管理、病害虫対策など
- ・収穫後、貸与を受けた種子・肥料の代金を回収
- ・回収された代金は、次季作の基金として PAFO が管理



種子、肥料の引渡式



① 希望農家の登録



② 研修受講



③ 研修後、種子と肥料を配付



⑥ 代金の回収



⑤ 収穫



④ 現場で技術のフォロー

カウンターパート(CP)から一言: 農家に栽培技術を普及するコツ

肥料は基肥、追肥(1回目)、追肥(2回目)の3回に分けて行いますが、研修に来てもらうため、肥料は一度に渡さず、研修の度に分けて渡しました。

サバナケット農林局
営農分野 CP チャンラコーンさん



2) 成果

①多くの農家による参加

本プログラムに参加した農家数 **263 軒**

対象地区の農家総数 **約 1600 軒**

全農家中
16%の農家が参加

②収量の増加(農家一戸あたり)

Average of Yield (kg/Household)



全体で
27%の増収

③参加農家と非参加農家の比較

このプログラムに参加した農家をサイブリ郡(トンヘン地区、ソムサード地区)でサンプリング調査(実測調査)したところ、参加農家の増収割合が高いとの結果も出ています。

地区名	農家区分	収量 (t/ha)		増収率
		2017-18 年 乾季	2018-19 年 乾季	
トンヘン	参加農家	3.68	4.55	23.6%
	非参加農家	5.65	5.06	-10.4%
ソムサード	参加農家	5.21	5.94	14.0%
	非参加農家	4.93	5.13	4.1%

<貸付金の回収状況>

今回のプログラムは、ラオス側、日本側双方で予算を分担し、約 33,000 米ドル分を貸し付けました。貸付金の回収状況は 32,500 米ドル相当で、98%を回収していることになります。これは、現在、2019 年雨期作の貸し付けに活用しています。

農家の声

今年の乾季の収穫は、通年ならば 70~75 袋程度(約 3~3.2t)のところ、120 袋(約 5.1t)にもなりました。種子を新しいものにしたこと、これまで使わなかった基肥を使うようになったこと、耕地面積に最適な量を計算して施肥したことなどが良かったのでしょう。これらは、全てプロジェクトの研修で学んだものです。このプログラムが今後も継続するなら、きっと村の全ての農家が参加したいと思うに違いありません。

サイブリ郡ホワイヘー村
シンマー村長



<次回予告:マーケティング分野>

マーケティング分野では、農家と一緒に、収入向上のための野菜作りに取り組んでいます。「何の野菜を作っているのか?」「どこに販売しているのか?」などについて報告します。